

地区別農業委員会会長・事務局長会議における意見と対応方向について

地区	意見	反映状況	理由
胆振	<p>農産物の適正価格の構築</p> <p>適正価格に引き上げると消費者に大きな影響が出る。所得補償制度で対応すべき。</p> <p>飼料・肥料が高くなったが、この状況が10年も続くと、この価格で当然といったことにならないようにしてほしい。</p>	△	<p>消費者目線から言うと、2022年以降、5万品目に及び食品が値上げされており、すでに消費者に大きな影響が出ている状況にあります。</p> <p>こうした状況の中において、一般の消費者は、農産物の末端価格が上昇していないことは知りません。</p> <p>逆に言えば、当然、農業者が販売する農産物価格も上昇していると思っていると考えられます。</p> <p>次に、飼料・肥料については、ご指摘のとおりであります。おそらく、10年も続くと、その価格が通常価格であるということになり、国の支援も打ち切られると考えられます。</p> <p>また、国の予算も限度があります。従いまして、所得補償制度で青天井に支援し続けるということも無理があると考えます。</p> <p>このため、適正価格の構築と所得補償制度の両立が必要になると考えます。</p> <p>従いまして、原案の表現で対応させていただきます。</p>
胆振	<p>雇用就農者の確保のための環境整備と支援の充実</p> <p>日本人だけでなく、外国人の雇用支援についても考えてほしい。</p> <p>日本人だけでスタッフをそろえるのは難しい。</p> <p>農地だけ欲しいといった外国人もいる。そのような者が入ってこないように慎重に対応すべき。</p>	△	<p>現在、外国人技能実習制度の見直しが行われている状況にあります。</p> <p>これは、ご指摘のとおり、日本人だけでスタッフをそろえるのが、農業以外の業態でも難しくなっていることを意味します。</p> <p>農地だけ欲しいという外国人を除外したいという意向も理解できます。</p> <p>国は、令和4年3月に同様の検討をした結果、農地法で国籍を確認する条項が追加されています。</p> <p>外国人の関係については、制度が改正された後の対応を検討したいと考えます。</p>

地区別農業委員会会長・事務局長会議における意見と対応方向について

地区	意見	反映状況	理由
胆振	<p>鳥獣被害対策の充実</p> <p>鹿の侵入防止策の設置について、国の支援を受けようとしても設置に関し農家戸数の一定数の同意が必要で出作地の地区で同意を得ることが難しい。 また柵の高さ上限がある。</p>	△	<p>鹿ではありませんが、ヒグマについては、道が駆除を強化し2～4割減となるよう対応を検討しています。 これと同様に、鹿も柵による侵入防止のみではなく、駆除の強化が必要であると考えます。</p>
胆振	<p>産業動物に従事する獣医師の確保</p> <p>産業動物の獣医に何年間従事したら大学の奨学金を免除するといったことも要望してみたいか。 また、女性の獣医師も増えていると考える。出産・育児などではなれた者が戻りやすいような対策も必要では？</p>	○	<p>「このため、産業動物に従事した場合における奨学金の免除制度や、産業動物に従事する獣医師の労働環境の改善など、産業動物に従事する獣医師の確保対策について強化すること。」といたします。</p>
上川	<p>農業者年金</p> <p>国は、法人化を推進する一方で、農業者年金への加入も推進している。 しかし、法人化すると厚生年金への加入が義務で、農業者年金への加入ができなくなる。 両立されて、厚生年金+農業者年金という両方の加入が可能となるような方向にはできないか？</p>	△	<p>農業会議の要望書には反映しません。 別途、農業者年金協議会で農林水産省・農業者年金基金と意見交換する場がありますので、担当につなぐこととします。</p>
檜山	<p>収入保険</p> <p>資材価格高騰が農産物価格に転嫁せず収入につながらない。 収入保険の対象補填率を90～98%くらいとするような要望はできないか？ 掛け金上がるかもしれないと思うが、そのようなものがあれば。</p>	×	<p>状況は理解しますが、98%の補填となると、毎年、収入保険が発動し続ける可能性があります。 これだと制度が破綻してしまいます。</p>